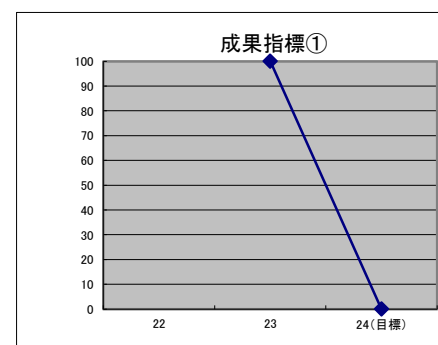
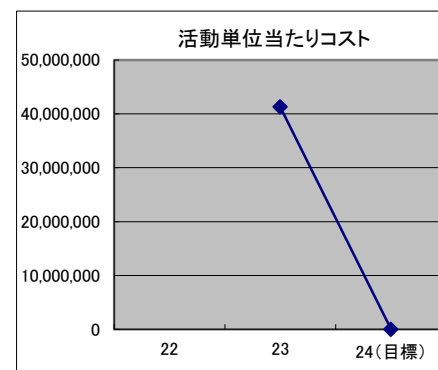


事務事業名		古市複合館の整備事業		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	3	次代を担う子どもを育むまち		款	3	民生費
	施策(節)	1	子育て支援		項	2	児童福祉費
	施策の方向	(2)	地域での子育て支援の充実		目	8	子育て支援費
関連する計画等				事業	53	(仮) 古市複合館整備	
				作成部署	保健福祉部 子育て支援課		
				連絡先	072 - 958 - 1111 内線 1252		
事業の目的	対象(誰を・何を)						
	羽曳野市立子育て支援センターふるいち・市立古市図書館・市立青少年センター						
	意図(どういう状態にしたいのか)						
事業の内容	古市駅東部に点在する老朽化した各施設を統合し、子育てや青少年活動の拠点として整備する。						
	古市駅東部に点在している老朽化した各施設を統合し、新たに古市複合館を建設することにより市東部の子育てや青少年活動の拠点として整備し、平成24年4月より供用開始する。						
	施設概要○構造:鉄骨造2階建て(一部3階)○敷地面積:436.73㎡、建築面積:273.80㎡ 延床面積:535.62㎡○各フロアについて 1階:子育て支援センターふるいち、2階:図書館・青少年センター、3階:倉庫・屋上						
根拠法令等		羽曳野市立古市複合館条例					
事業開始時期		平成 23 年度開始				終了年度	平成 23 年度
事業開始時からの状況変化							
市民や議会の要望		老朽化していた各施設については、かねてから耐震性や支援センターふるいちのアスベストの安全性などに関して不安の声があった。					
実施手法		☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先		☐ 外郭団体委託 名称 ☒ 民間委託		委託内容			
				(仮) 古市複合館整備事業設計委託業務 および (仮) 古市複合館新築工事			

区 分		22年度	23年度	24年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		0	119,940	0
人件費【2】 (千円)		0	3,830	0
職員数	正規職員	0.00 人	0.50 人	0.00 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.20 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		0	123,770	0
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)		6,240	
	市債 (千円)		95,000	
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	0	22,530	0
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		22年度	23年度	24年度(目標)
① 事業設計、新築工事、事業監理	件	0	3	0
②		0		0
③		0		0
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】 ①)		円	41,256,667 円	0 円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		0 円	1,057 円	0 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名	単位	指標設定の考え方	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	① 事業進捗率 (式) (各年度毎終了事業経費÷事業全体経費)×100	%	新築整備事業全体を100とした場合の行程進捗度合	目標 実績	100 100	達成率(%) 100.0%
	② (式)			目標 実績		達成率(%)

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的・経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	地域の子育てと青少年活動の拠点として、多くの市民が利用する施設として、安心と安全を確保することは市の責務である。

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	老朽化した各施設を統合し、新たな複合施設を建築することにより、利用者の更なる安心・安全が確保できるとともに、市東部における子育てと青少年活動の拠点整備が整った。
		市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☐	☐	☒	
		社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☐	☐	☒	
		国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐	
		事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
		緊急性が認められる	☒	☐	☐	
	効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	☒	☐	☐	単年度事業とすることで、利用者の利便性や継続性を損なうことなく施設整備が整った。また、3施設を統合することにより職員配置の効率化を図ることができた。
		受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		簡略化できる方法や手段がない	☒	☐	☐	
		市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☒	☐	☐	
	有効性	上位の施策(目的)が明確である	☒	☐	☐	施設利用者の利便性と安全性が確保できた。
		上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐	
		成果を向上させる余地がない	☒	☐	☐	
		市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐	
	協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☒	☐	☐	子育て世代や青少年など多くの市民が集い、様々な事業を通じて市民参加型の地域社会が形成される拠点が整備された。
		事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☒	☐	☐	
		事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☒	☐	☐	
		事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☒	☐	☐	
	達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	市東部地域における子育てと青少年活動の拠点整備が整った。
		成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	
		成果指標は前年度より向上している	☐	☐	☒	

担当部局評価	総合評価									
	☐ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☒ 完了									
	評価の理由									
	老朽化し古市駅東側に点在していた（旧）子育て支援センターふるいち、（旧）古市図書館、（旧）青少年センターの各施設が、十分な耐震安全性を持つ「古市複合館」に移転することで、市東部における地域での子育て支援と青少年活動の拠点となった。									
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)									

平成24年度4月14日から供用を開始し、今後は各施設における事業の充実が望まれる。